

# 私立 千葉商科大学附属高等学校 シラバス

商業科「ソフトウェア活用（2年商業科IT型）」	単位数	3単位	学科	商業科
	学年	2	組	J

## 1 学習の目標、評価の観点、内容及び評価方法

学習の目標	<p>1. ソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。</p> <p>2. ソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p>
-------	---

育成する資質能力	「向上心」「思考力」「表現力」
学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	定期考査 小テスト（実技・筆記） 検定試験	定期考査 小テスト（実技・筆記） 検定試験	検定試験 提出物 検定試験
配分	60%	20%	20%

## 2 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項、他教科との関連など）
第1学期	<p>1章 企業活動とソフトウェア活用</p> <p>1節 ビジネスにおけるソフトウェアの活用</p> <p>2節 ビジネスにおけるソフトウェアの進化</p> <p>2章 情報通信ネットワークの活用</p> <p>1節 情報通信ネットワークの導入と運用</p> <p>2節 情報資産の保護</p> <p>3章 表計算ソフトウェアの活用</p> <p>1節 表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトウェアの進化が、社会の変化に与える影響を考えます。</li> <li>・ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解し、それを活用するコンピュータやプリンタをLANやインターネットに接続するための基礎的な方法や、情報通信ネットワークのシステム障害に対処するための基本的な技術を身に付けます。</li> <li>・情報資産を保護するため、ソフトウェアの脆弱性への対応や、無停電電源装置の活用などのリスクを適切</li> </ul>	なし

	2節表計算ソフトウェアを用いたオペレーションズ・リサーチ	<p>に管理する方法について理解するとともに、情報を共有するためのファイルとフォルダのアクセス権の設定や、暗号化の種類、データのバックアップなどについての基本的な技術を身に付けます。</p> <p>・表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解し、様々な集計や分析方法、集計した情報から、分析結果を適切に表現する能力を身に付けます。</p>	
第2学期	<p>4章 データベースソフトウェアの活用</p> <p>1節 ビジネスとデータベース</p> <p>2節 データベースの作成と操作</p> <p>3節 手続きの自動化</p> <p>4節 データベースの構造</p> <p>5章 業務処理用ソフトウェアの活用</p> <p>1節 グループウェアの活用</p> <p>2節 販売管理ソフトウェアの活用</p> <p>3節 給与計算ソフトウェアの活用</p>	<p>・データベースの特徴や基本的な機能を学習します。</p> <p>・グループウェアを活用することの利点と、グループウェアを活用して効率的に業務を行う方法について学習します。</p>	<p>・全国商業高等学校協会の情報処理検定1級ビジネス情報部門を受験することができます。</p>
第3学期	<p>6章 情報システムの開発</p> <p>1節 システム開発の基礎</p> <p>2節 アルゴリズムの基礎</p> <p>3節 情報システムの開発演習</p>	<p>・情報システムの開発に関する基礎的な知識、技術について実務に即して理解するとともに、表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアによる情報システムの開発と関連付けて理解を深めます。</p> <p>・表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアのプログラミング機能を利用した簡易な情報システムの開発を通して、企業活動の改善を科学的な根拠に基づいて、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付けます。</p>	<p>・全国商業高等学校協会の情報処理検定1級ビジネス情報部門を受験することができます。</p>

使用教科書	実教出版『ソフトウェア活用』
副教材	<p>東京法令出版『全商情報処理検定試験 パスポート 1級ビジネス情報編（2025年度用）』</p> <p>東京法令出版『全商情報処理検定試験 模擬問題集 1級ビジネス情報編（2025年度用）』</p>

### 3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<p>・授業で習った内容を空き時間などを使い、復習してください。</p> <p>・休んだ日の学習内容については、科目担当の先生に聞きましょう。</p> <p>・難易度があがります。わからない部分そのままにしないようにしましょう。</p>
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<p>・授業は毎時間コンピュータ室で行います。チャイムと同時に開始しますので、教材・教具を準備し、ログオンを完了しておきましょう。</p> <p>・コンピュータなどの情報機器の操作・取り扱いについては丁寧に扱ってください。</p>

その他のアドバイス

なし